

Youth Manna

マルコ1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/6/12(月)

ヨシュア15:1-19

ここでは、ユダ部族の割り当てられた地の範囲が記録されている(1-12)。今日の箇所だけで、「境界線」という言葉が何回も出てくるね。今日は、この言葉について黙想してみよう。

○「境界線」と聞いて、何を思い浮かべるかノートに書いてみよう！(例:プライベートゾーン、隣の家の人との境界)

○神様は、私達にもそれぞれ「境界線」を与えておられる。例えば、クラスや部活でなかなかウマが合わないなあと思う子はいないかな？でも、彼(彼女)を変えるのは自分でなく、神様のなさることだよ。★今日、自分が責任を持って取り組む必要があること、逆に神様に委ねる必要のあることをメモして、そのことを祈ったり、実行してみよう。

2023/6/13(火)

ヨシュア15:20-47

ユダ部族の相続地が書かれているね。町々の名前は聞き慣れない名前がほとんどだと思うけど、この中で有名なのは28節のベエル・シェバだろうか。かつてアブラハムが長い間寄留していた場所だね。

45-47節に書かれている地域はペリシテの地域だよ。神様に信頼して前進し続ければ、この地を勝ち取ることができたはずだったけど、ずっと後のダビデの時代まで支配できなかったんだ。

神様が相続地として割り当てた地は、黙っていて手に入るものではなかった。神様の約束はあったけど、信仰を持って応じる必要があったんだね。今、君が信仰によって神様に応えるべきことは何だろう？考えてみよう！

2023/6/14(水)

ヨシュア15:48-63

昨日に引き続き、ユダの割り当て地が記されている。第6番目から第10番目の地域は山地であるが、「キルヤテ・サナ、すなわちデビル」と「キルヤテ・アルバ、すなわちヘブロン」という呼び方は印象的である。13-19節にカレブと彼の娘婿となるオテニエルが、ヘブロンとデビルを完全に支配するようになった経緯が描かれていたが、その証として町の名前が変更されている。55-57節は第8番目の地域であるが、マオンやジフという町は、サムエル記でダビデがサウルから逃れるためにさまよった荒野である。

その他様々な地名があげられ、最後に「エルサレムの住民エブス人を、ユダ族は追い払うことができなかった」という記述で終わる。これはユダ族の不従順を示している。

ユダ族が失敗したことを、のちにユダ族の王ダビデが成し遂げた。神様のみわざを覚えよう。

2023/6/15(木)

ヨシュア16章

10人の兄弟たちによって奴隷として売られ、エジプトの大臣にまでなったヨセフは実質的なヤコブの長子の扱いを受け、他の部族の2倍の分け前を受け継ぐことになり、ヨセフの子マナセとエフライムが他の部族と同じような扱いを受けて相続地が割り当てられた。

彼らはヨセフの功績ゆえに広大で更に良い地を与えられた。大きな祝福が神様からもたらされたことが分かる。

神様に従うものには永遠いのち、祝福がある。神様を知るものとして歩み続けよう！！

2023/6/16(金)

ヨシュア17章

●14-18vを読もう。割当地が少ないと不満を訴えたヨセフ族にヨシュアは自分たちの持てる力を十分に使って開拓するように伝えているね。それに対してヨセフ族はどう言い訳しているかな？16v

●きみにも神様から与えられた(Give!)ものがあるはずだ。能力だけでなく、身長、声、人を心配する気持ちもそうだし、いるだけですでに尊い。それをどう使うかなんだ。GIVEしていこう！

2023/6/17(土)

ヨシュア18章

シロの地で集まっていたイスラエルの子らの中で、相続地を割り当てられていない7つの部族が残っていた。用意されている地なのに、求めようとしないこの人たちに対して、ヨシュアは「いつまで先延ばしにしているのか」と問い詰めたんだ。

それで実際に行動にうつして与えられた地には、イスラエル全体にとっても大きな意味をもつ町もあった。私達も難しいと思うものを先送りにしていないかな？向き合いながら、神様に信頼して前進していこう！

2023/6/18(日)

ヨシュア19:1-23

シメオン族は偶像礼拝の罪ゆえに神様のさばきを受けて一番小さな部族となっていた。彼らの相続地はユダ族の相続地の中に割り当てられたよ。ゼブルン族の割り当て地は約束の地の中の穀倉地帯とも言える肥沃な地であり、後にイエス様はその中心の町ナザレで育つことになる。イッサカル族の割り当て地はマナセにも征服が命じられたイズレエルの谷を含むガリラヤ湖の南の最も肥沃な土地があった。

だけど、ヨセフ族が「イズレエルの平野にいる者も、鉄の戦車を持っていません」と嘆いたように(17・16)、その地の支配には困難があった。しかし、マナセ、ゼブルン、イッサカルの三部族が協力して敵に当たったなら支配地は広がったはずだと考えられる。

「割り当ての地は定まりました。私の好む所に、実にすばらしい私へのゆずりの地です」(詩篇16・6)という告白から、相続地を見直してみよう。